

# コレクション2

# Undo, Redo わたしは解く、やり直す

2025年2月15日(土) - 6月1日(日)

国立国際美術館

Collection 2 2025年2月15日(土) - 6月1日(日)

アンドウ

# Undo,

わたしは解く、やり直す

Louise BOURGEOIS, Ruth ASAWA, Leonor ANTUNES, Tetsumi KUDO, Shigeo ANZAI, Sophie PICH, Yoko TERAUCHI, Chiharu SHIOTA, Zou ITO, Izumi KATO, Tomonaki ISHIHARA, Kei TAKEMURA, Rei NAITO, Yawei KUSAMA, Ryoko AOKI, Mari KATAYAMA, BuBu de la Madeleine, Miyako ISHUCHI, Saori AKUTAGAWA(MADOKORO), Tiger TATEISHI (Koichi Taiga), Tadanori YOKOO, Miran FUKUDA, Akira SHIMIZU, Pei-Shih TU, Sterling RUBY, Aiko TEZUKA, Jiro TAKAMATSU, Henry MOORE, Marino MARINI, Joan MIRO, Alexander CALDER, Yoshihiro SUDA, Mark MANDERS

リドゥ

# Redo

わたしは解く、やり直す

開催時間 — 10:00 - 17:00  
 全席・半席12000円(入場は別途3000円以上)  
 休館日 — 月曜日(2月24日、5月5日は除く)、  
 2月25日(水)、5月7日(木)

観覧料 — 一般:4300円(2200円)、大学生:1300円(700円)  
 18歳未満は1000円(500円)  
 東京都立大学・国立国際美術館18歳未満は無料(要予約)  
 心身障害者のみなさまは別途お申し込みください(要予約)  
 観覧料は現金・クレジットカード・現金払いのみです。現金払いの場合は、現金を必ずお持ちください。  
 観覧料は現金・クレジットカード・現金払いのみです。現金払いの場合は、現金を必ずお持ちください。

主催 — 国立国際美術館  
 協賛 — 公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団  
 企画担当 — 高橋知子(国立国際美術館主任研究員)

**国立国際美術館**  
 THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪府北区中之島4-2-55  
 http://www.nmao.go.jp/

ルイズ・ブルジョワ、ルース・アサワ、レオノール・アントネス、工藤哲巳、安齊重男、ソビエツク・ピッチ、寺内曜子、塩田千春、伊藤存、加藤泉、石原友明、竹村京、内藤礼、草間彌生、青木陵子、片山真理、フブ・ドラ・マドレーヌ、石内都、芥川(四所)紗織、タイガー・立石(立石絳・立石大河童)、横尾忠則、福田美蘭、清水晃、杜鳳詩(ドゥ・ベイシー)、スターリング・ルビー、手塚愛子、高松次郎、ヘンリー・ムーア、マリノ・マリニ、ジョアン・ミロ、アレクサンダー・コルター、須田悦弘、マーク・マンダース

2024年度のコレクション2では、2023年度当館が収蔵したルイズ・ブルジョワ、レオノール・アントゥネス、2024年度収蔵し今回国内初公開となるルース・アサワの3作家による作品を起点に、既にある素材や構造、歴史をほぐし、それらを再構成していく作家の手つきと作品のあり方に注目します。また、近年収蔵した作品も多数紹介します。

本展タイトルは、ブルジョワが2000年にテート・モダンのタービン・ホールで発表した作品のタイトル「I Do, I Undo, I Redo」および2023年度に2作品を収蔵した手塚愛子をはじめとする作家の制作行為に着想を得ています。

### 出品作家 ※変更となる場合があります

ルイズ・ブルジョワ、ルース・アサワ、レオノール・アントゥネス、工藤哲巳、安齊重男、ソピアップ・ピッチ、寺内曜子、塩田千春、伊藤存、加藤泉、石原友明、竹村京、内藤礼、草間彌生、青木陵子、片山真理、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、石内都、芥川(間所)紗織、タイガー立石(立石紘一・立石大河亜)、横尾忠則、福田美蘭、清水晃、杜珮詩(ドゥ・ペイシー)、スターリング・ルビー、手塚愛子

常設作品作家：高松次郎、ヘンリー・ムア、マリノ・マリーニ、ジョアン・ミロ、アレクサンダー・コールドー、須田悦弘、マーク・マンダース

## 本展の見どころ

### ◎新収蔵のルース・アサワ作品を初公開

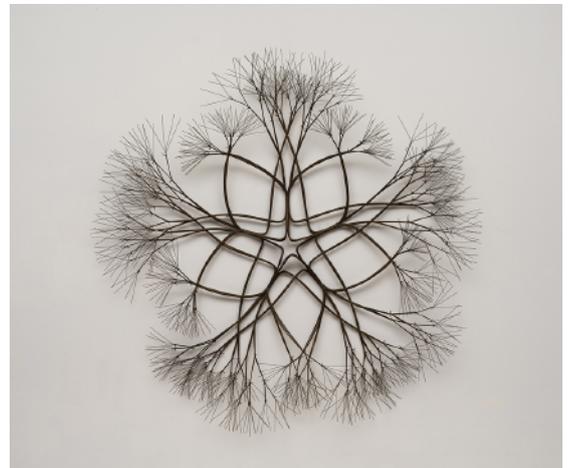
2024年度新たに収蔵した、日系2世のアメリカ人アーティスト、ルース・アサワ(1926–2010)の大作を初公開します。近年国際的な再評価が進んでいるアサワのワイヤー彫刻を、国内の国公立美術館が収蔵するのは、初めてのことです。

### ◎近年の収蔵作品を多数展示

本展ではルース・アサワの作品のほかに、2024年度収蔵のソピアップ・ピッチ《夜想曲 no.1》(初展示)、2023年度収蔵のルイズ・ブルジョワ《カップル》、レオノール・アントゥネス《道子#6》、手塚愛子の代表作2点(初展示)、竹村京の「修復シリーズ」および刺繍を施した大型作品(収蔵後初展示)、片山真理の初期を代表する写真作品、2022年収蔵のブブ・ド・ラ・マドレーヌのインスタレーションと加藤泉の大作、2020年収蔵のスターリング・ルビーの平面作品(初展示)など、近年の収蔵作品を多数ご紹介いたします。

### ◎素材や制作行為に着目し、コレクションを紹介

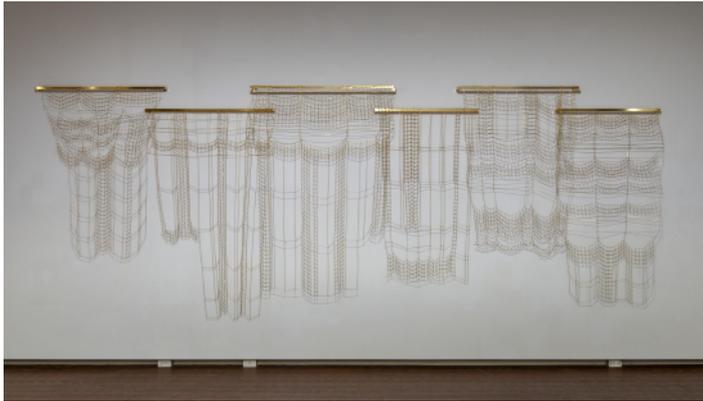
本展では、現代美術における糸や布ほか身近にある素材の使用に目を向けます。また、編み縫うといった制作行為を、ラディカルな創造行為としてとらえ、コレクションに新たな光を当てます。



ルース・アサワ《無題 (S.317、壁掛け式、中央部は開いた五芒星と枝が重なりあう形にワイヤーを縛ったもの)》  
1965年頃  
国立国際美術館蔵 撮影：福永一夫  
© 2025 Ruth Asawa Lanier, Inc./Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy David Zwirner

PRESS RELEASE

コレクション2 Undo, Redo わたしは解く、やり直す  
2025年2月15日(土)–6月1日(日)



レオノール・アントゥネス《道子 #6》2023年  
国立国際美術館蔵 撮影：福永一夫



寺内曜子《Hot-Line89》1987年  
国立国際美術館蔵 撮影：内田芳孝



竹村京《E.K.のために》2015年  
国立国際美術館蔵 撮影：福永一夫



ブブ・ド・ラ・マドレーヌ《人魚の領土ー旗と内臓》2022年  
国立国際美術館蔵 撮影：福永一夫 © BuBu de la Madeleine



手塚愛子《Ghost I met》2013年  
国立国際美術館蔵  
Photo by Lepkowski Studios, Berlin

## PRESS RELEASE

コレクション2 Undo, Redo わたしは解く、やり直す

2025年2月15日(土)–6月1日(日)

会 期 2025年2月15日(土)–6月1日(日)  
会 場 国立国際美術館 地下2階展示室(〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55)  
開館時間 10:00–17:00、金曜・土曜は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで  
休 館 日 月曜日(ただし2月24日、5月5日は開館)、2月25日(火)、5月7日(水)  
主 催 国立国際美術館  
協 賛 ダイキン工業現代美術振興財団

観 覧 料 一般430円(220円)、大学生130円(70円)

( )内は20名以上の団体料金

高校生以下・18歳未満無料(要証明)・心身に障がいのある方とその付添者1名無料(要証明)

夜間割引料金(対象時間:金曜・土曜の17:00–20:00) 一般:250円 大学生:70円

本展は特別展「ノー・バウンダリーズ」(会期:2月22日~6月1日)の観覧券でご観覧いただけます。

無料観覧日 2月15日(土)、3月1日(土)、4月5日(土)、5月3日(土)、5月18日(日)

### 関連イベント

ギャラリー・トーク等開催予定。詳細は決まり次第、当館ウェブサイト等でお知らせします。

### 一般のお客様からのお問い合わせ先

国立国際美術館 TEL:06-6447-4680(代表) URL <https://www.nmao.go.jp/>

### 交通アクセス

京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分、Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分、JR「大阪駅」、阪急電車「大阪梅田駅」から南西へ徒歩約20分、JR大阪環状線「福島駅」から南へ徒歩約15分、JR東西線「新福島駅」(2番出口)、阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分、Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分

大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約3分(お帰りのJR大阪駅方面最寄バス停は「渡辺橋」になります)

当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。心身に障がいのある方で、車で来館される場合は、当館近隣の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

### 広報画像ご使用にあたってのお願い

本展の広報を目的とした場合に限り、ご使用いただけます。「広報画像申込書」にて申請していただきますようお願いいたします。

「広報画像申込書」は、国立国際美術館のホームページからダウンロードしていただけます。

国立国際美術館「プレスの方へ」 URL <https://www.nmao.go.jp/press/>

画像の使用にあたって、次の点をお守りいただきますよう、お願いいたします。

- ・画像と一緒に送るキャプション及びクレジットを明記してください。
- ・画像のトリミングや、画像に文字を重ねての使用はできません。
- ・インターネットに掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記のうえ、ダウンロードできないように加工してご使用ください。
- ・会期・会場・画像キャプションなどの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階で広報担当までメールまたはFAXにてお送りください。
- ・掲載(放映)終了後に、掲載出版物または録画メディアを広報担当宛にお送りください。
- ・インターネットに掲載した場合は、URLをお知らせください。
- ・画像の二次利用や転載はお断りいたします。使用後は画像データを破棄してください。

PRESS RELEASE

コレクション2 Undo, Redo わたしは解く、やり直す  
2025年2月15日(土)–6月1日(日)

広報に関するお問い合わせ先

国立国際美術館 広報担当 太田 道子

E-mail : kouhou@nmao.go.jp TEL : 06-6447-4671(直通) FAX : 06-6447-4699

企画担当

正路 佐知子 (国立国際美術館 主任研究員)